

まちづくり交付金 事後評価シート

みうらかいがんえきしゅうへん
三浦海岸駅周辺地区

平成21年12月

神奈川県三浦市


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	三浦市	地区名	三浦海岸駅周辺地区			面積	237ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,863百万円	国費率	0.421		


1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路事業、公園事業、地域生活基盤施設事業、高質空間形成施設事業											
		提案事業	地域創造支援事業の地域活性化事業(三浦海岸駅周辺)、三浦国際マラソン事業、まちづくり活動推進事業の公園自主管理団体補助											
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業のうち市道3号線、市道1960号線の道路整備及び公園事業のうち三浦スポーツ公園整備	目標をより良く達成するため	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
提案事業		地域創造支援事業のうち下水道事業(三崎口駅周辺)、事業活用調査事業のうちまちづくり交付金効果分析及びまちづくり活動推進事業のうち花とみどりモデル事業	目標をより良く達成するため	—			影響はない							
交付期間の変更	当初	平成17年度～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—									
	変更	変更なし												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	イベント入り込み数	人/年	173,000	H16	175,000	H21	モニタリング	評価値	234.547	○	あり なし	「わいわい市、どっこいセール」が定着したことや「三浦国際市民マラソン」の参加者数が増加したことにより、地元の観光事業を盛り上げることに繋がっている。	H23年6月
	指標2	歩道の段差解消率	%	28	H16	90	H21	—	92	○	あり なし	三浦海岸駅から小松ヶ池公園への歩道の段差解消率は、92%の整備が整い、歩行者の快適性を向上させている。	H22年5月	
	指標3	災害時の避難所までの所要時間	分	34	H16	12	H21	—	12	○	あり なし	災害時に落橋する恐れのある市道4号線51号踏切橋及び市道5号線山ヶ谷戸踏切橋の耐震補強整備が整い、災害時のライフラインが確保されている。		
	指標4	歩道の設置延長	m	12,990	H17	13,835	H21	—	13,560	△	あり なし	都市再生整備計画区域内に、民間による開発事業が計画され、計画予定地に隣接する道路整備が実施できなかったことが未達成となった直接的な要因である。	H22年5月	
	指標5	災害時の避難地までの所要時間	分	50	H17	33	H21	—	33	○	あり なし	三浦スポーツ公園の整備により、従前の避難地の「旧三崎高校」から「三浦スポーツ公園」に変更になり、避難地までの所要時間が大幅に短縮されている。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	路線標示による歩道と車道に分離延長	m	0	17		モニタリング	評価値	775			路面標示(ライン)による歩道と車道を分離延長 775mの整備が整い、歩行者の誘導及び安全確保や歩行者の快適性を向上させている。	H22年5月	
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況	わいわい市、どっこいセールの定着や三浦国際市民マラソンの参加者が増加したことにより、年間を通して観光客が増加し、まちの活性化につながった。歩道の段差解消・歩道整備が整い歩行者等の快適性が向上され、小松ヶ池公園が整備されたことにより公園機能向上や三浦スポーツ公園が整備されたことにより災害時の避難所が確保され、安全で災害に強いまちづくりができた。公園自主管理団体は、活動を通して地域住民の交流がなされた。公共下水道の整備が早期に実現され、住環境の快適性が向上した。													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	—					
	住民参加プロセス	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	—					
持続的なまちづくり体制の構築	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた	—	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	—						

様式2-2 地区の概要

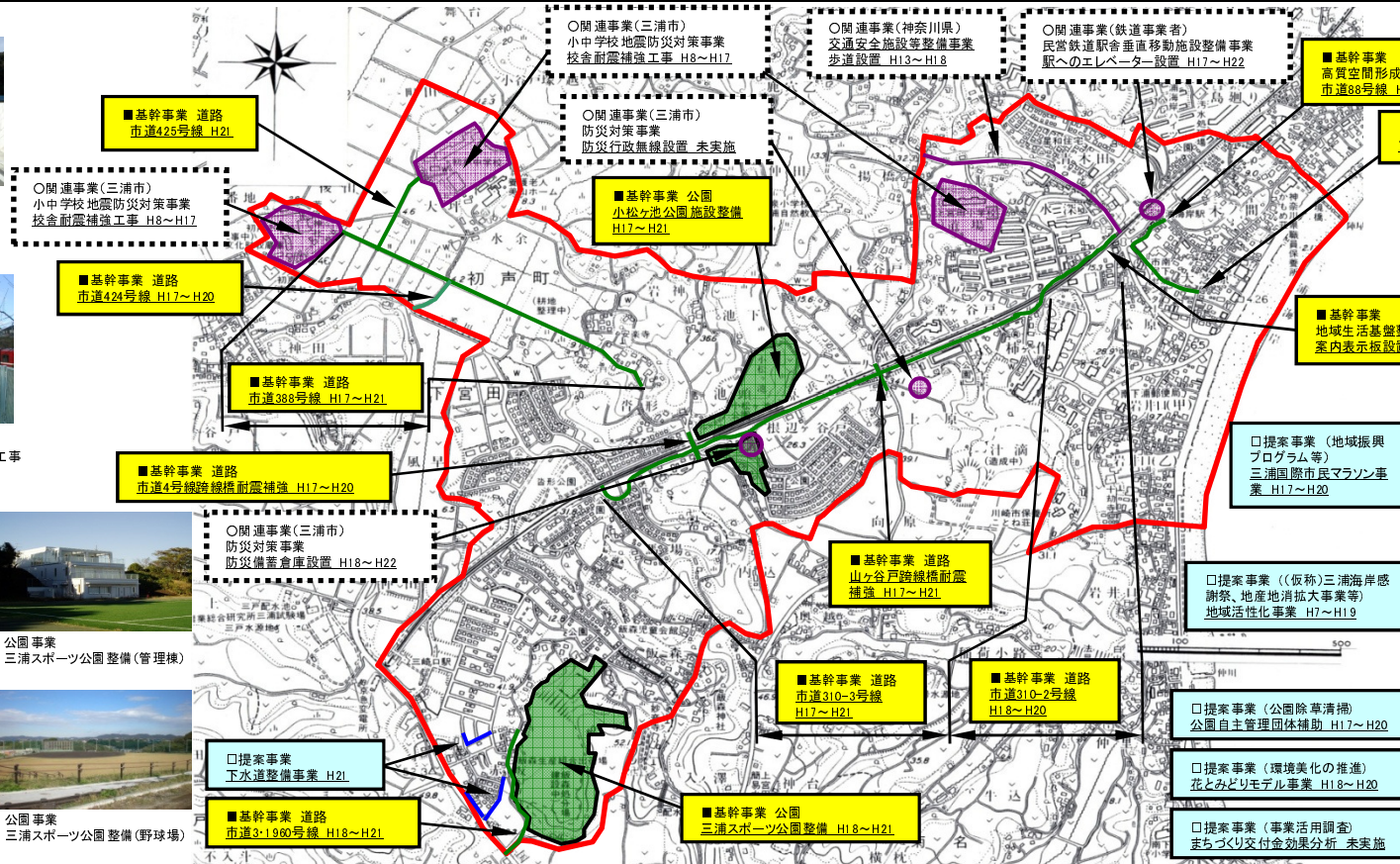
三浦海岸駅周辺地区(神奈川県三浦市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:安全で快適なにぎわいのあるまちづくり 目標1 新たな観光資源の開発により、年間を通してまちのにぎわいを取り戻す 目標2 住環境の快適性の向上 目標3 安全で災害に強いまちづくり		イベント入り込み数	単位: 人/年	173,000	H16	175,000	H21	234,547	H21
		歩道の段差解消率	単位: %	28	H16	90	H21	92	H21
		災害時の避難所までの所要時間	単位: 分	34	H16	12	H21	12	H21
		歩道の設置延長	単位: m	12,990	H17	13,835	H21	13,560	H21
		災害時の避難地までの所要時間	単位: 分	50	H17	33	H21	33	H21




道路事業
市道424号線工事




道路事業
市道4号線跨線橋耐震補強工事




凡例
 計画区域
 ■ 基幹事業
 □ 提案事業
 ○ 関連事業



公園事業
小松ヶ池公園
地域生活基盤施設事業
案内表示板設置
(小松ヶ池公園)



地域創造支援事業
三浦国際市民マラソン事業
(キッズラン)



地域創造支援事業
地域活性化事業(わいわい市)

まちの課題の変化	・「わいわい市、どっこいセール」が定着したことや三浦国際市民マラソンの参加者数が増加したことにより地元観光事業が盛んになった。 ・市民の憩いの場としての公園の整備を行い、市民、観光客の公園施設の利便性が向上され、また、防災上の避難地が確保された。 ・三浦海岸駅から小松ヶ池公園までの歩道のうち、歩道段差解消された歩道延長の割合が増加したことにより、歩行者の安全性が確保され、回遊しやすい交通環境の整備ができた。 ・区域内の通学路周辺に歩道設置したことにより、学童の安全確保が図られた。 ・老朽化が進んでいた京浜急行線軌道にある市道4号線跨線橋及び山ヶ谷戸陸橋が耐震補強され、緊急車両の通行や避難通路として緊急時のライフラインの確保ができた。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・今後も「わいわい市、どっこいセール」や「三浦国際市民マラソン」や三浦海岸駅から小松ヶ池公園周辺で毎年行われている「三浦海岸桜まつり」を実施し、通年型の観光地を目指し地元を盛り上げる活動を続け、にぎわいの創出を図る。 ・市民の憩いの場としての公園の維持管理等を行い、公園施設の機能維持及び防災上の避難地としての機能確保や、整備された三浦スポーツ公園でイベント等を開催し、スポーツを通じた健康増進などの公園利用を図る。 ・今後も歩道の段差解消の延長及び歩道設置を引き続き行い、歩行者の安全性の確保と回遊しやすい交通環境の整備を図る。 ・避難所までの通路の維持管理等の整備を行い、緊急車両の通行や避難通路としてのライフラインを確保を図る。